

## 小5算数 出題のねらいと対策

### 1 計算問題 74.1%

**ねらい**：これまでに学習した計算方法の定着度を問う。

**分析と対策**：(1)計算の順序や、小数点の位置に気をつけて計算しましょう。(2)ある数に1より大きな数をかけたときと、ある数を1より小さな数でわったときの答えは、ある数より大きくなります。(3)工夫して計算する練習をしましょう。

### 2 小数の文章題 62.5%

**ねらい**：文章題の内容を正確に読み取る力、また、小数の計算力を問う。

**分析と対策**：(1)①10あたりの道のりを求めるので、1.4(0)でわかります。(2)①10あたりで走ることでできる道のりに使ったガソリンの量をかけると、走った道のりが求められます。(2)①ある数=商×わる数です。(3)「何倍」の文章題では、答えを求めるのに、かけ算をするのか、わり算をするのかよく考えましょう。

### 3 分数 78.3%

**ねらい**：分数の計算力を問う。分数のしくみや数の大きさを考えられるかを問う。

**分析と対策**：(1)分母が同じ分数どうしのたし算・ひき算では、分母はそのまま、分子どうしをたしたりひいたりします。(2)小数を分数になおすときには、その数が、0.1(10分の1)や0.01(100分の1)の何個分かを考えましょう。(3)解説のように小数になおしてくらべます。

### 4 三角形・四角形の角 63.1%

**ねらい**：三角形と四角形の角の大きさの求め方の定着度と応用力を問う。

**分析と対策**：(1)① 三角形の角の大きさの和は180度です。また、合同な三角形の対応する角は等しくなります。② 四角形の角の大きさの和は360度です。③五角形の角の大きさの和は540度です。④平行な直線に他の直線が交わると等しい角ができます。(2)二等辺三角形の2つの角の大きさは等しいです。また、折り返した図形にはかならず等しい角ができます。分かった角の大きさは図にかきこむと、問題を解きやすくなります。

### 5 三角形・四角形の面積 60.3%

**ねらい**：面積の求め方の定着度と応用力を問う。

**分析と対策**：(1)三角形の面積は底辺×高さ÷2で求められます。(2)平行四辺形の面積は底辺×高さで求められます。(3)三角形の底辺は面積×2÷高さで求められます。(4)ひし形の面積は、解説のように公式を使ったり、いくつかの三角形に分けたりして求められます。(5)三角形は、底辺と高さの長さが同じなら、どのように形を変えても面積が変わりません。(6)解説のように、色をつけた2つの三角形の面積は、どちらも大きい三角形の面積から小さい三角形の面積を引いて求められます。(7)②「三角形の面積=底辺×高さ÷2」を利用して、□の長さを求めます。

全体の平均点は66.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。